

第 42 回グリーンプランおた推進会議 議事概要

日 時	令和 7 年 1 月 30 日 (木) 10:00~12:00
会 場	大田区役所本庁舎 11 階 第五・六委員会室
出席者	
【推進会議委員】	島田委員長、池邊副委員長、加藤委員、前園委員、村尾委員、深澤委員、岩下委員、原田委員、菅原委員、曾根委員、西山委員、遠藤委員、山田委員 計13名
【その他】	関係所管課長

議事案件 1 第 41 回グリーンプランおた推進会議の振り返り

- ・承認する：13名 承認しない：0名

委員長

- ・ご意見がないようなので、議事概要について承認されたものとする。

議事案件 2 大田区における基金の創設・運用の検討について

委員

- ・基金の目的の記載が「みどりの名所」と限定的になっている。今後、用途は広がっていくのか、その場合どのように対象を決めるのか。
- ・寄付の主体が企業か個人かで通称は変わってくると思うが、どちらか。

→事務局

- ・用途は、水辺空間、グリーンインフラ等、この推進会議で話し合

って広げていきたいと考えている。金額がどのくらい集まるか不明な中、みどりの見学会で意見が出た「多摩川台公園のアジサイの追加植栽」を提案している。

- ・寄付は、企業、個人限定せずに募っていきたい。

委員長

- ・区民の緑化活動の支援もあってしかるべきだと思う。
- ・森林環境譲与税のように用途を分かりやすく透明性を持たせてほしい。
- ・用途と通称をリンクさせるべき。

→事務局

- ・用途は手探りのところがある。区民活動の支援も大事だと思う。寄付集めに賛同を得られる用途について、委員の皆さんの知見を頂きながら検討を進めたい。

委員長

- ・花壇を作るのにも、業者に発注して作るだけでなく、区民と一緒に作るなど工夫していかないと区民の協力を得るのは難しい。

→副委員長

- ・横浜市では、みどり税として給与所得者全員から年 900 円を徴収し、並木の伐採の仕方をきれいにするにも使用した。市民の緑化活動も、計画を提出すると 3 年間支援がされる。区の整備費で賄うべきことに、何故基金が使われるのかと区民から言われたいような使途を考えるべき。

→委員

- ・資料 2 の基金の目的の記載が「みどりの名所の魅力向上」と限定的になっているのを改めた方がよい。
- ・案として挙げられている「多摩川台公園のアジサイの追加植栽」は、区民にインパクトが弱いのではないかな。

→委員

- ・使途として、公共施設での環境教育も検討して頂きたい。

→事務局

- ・資料では、目的の具体的な案として「みどりの名所の魅力向上」を挙げており、限定的な書き方となっているが、グリーンプランおたの P.119 では「(仮称) グリーン基金の創設・運用」として広い内容で記載している。目的の記載を改める。
- ・大田区をみどりの視点から盛り上げていくためには、「多摩川台公園のアジサイ」は名所であり、金額がどのくらい集まるか分からない中で、少額でも量を植えることができ、時期的にも花の時期までに植えることができれば見応えがあり、基金の一步

目としては適していると考えている。

- ・このようなオープンな会議で使途を決めていくということが、使途の透明性に資すると考えている。

→委員

- ・「多摩川台公園のアジサイの追加植栽」を初年度の使途として選定した理由も記載した方がよい。

→事務局

- ・承知した。

→委員長

- ・加えて、寄付が多く集まるよう、うまくチラシを作成してほしい。

委員

- ・健常者だけでなく、だれにでも魅力を分け与えて頂きたい。

→副委員長

- ・多摩川台公園は段差があるので、配慮が必要。また、追加植栽に区民の寄付を使うほど区にはお金がないのかと思ってしまう。港区の小学生向けの緑と景観の出前講座に講師として行ったことがあるが、そういった環境教育にも使えた方がいい。

→委員

- ・大きな目的を記載した上で、今年は多摩川台公園という書き方をすればいいと思う。

→委員

- ・身近な公園への寄付ならば出し手はいると思う。

→委員

- ・多摩川台公園は古墳もあり、格式のある特別な公園との認識が

あるので、使途に挙がったことは理解できるが、人気の少ない公園であるため、管理が難しいと思う。

→**委員**

・多摩川台公園は大田区の端にあるので、近くに住んでいない人にはインパクトがない。また、どこか一つの公園に決めるのは難しいと思った。

→**委員**

・使途としてはグリーンプランの P.119 記載のように様々なものが想定されることを説明した上で、初年度はこれという形で募集すれば良いと思う。

→**委員**

・多摩川台公園は素晴らしい公園であるため、使途として賛成である。

→**事務局**

・資料は令和7年度以降の案として提示したもので、どのくらい寄付が集まるかも不明であるため、引き続き詳細は考えていきたい。

委員長

・基金の通称については、委員による投票の結果、「つながるみどり基金」とする。

報告案件1 大田区グリーンインフラ事業計画の策定について

委員

・事業計画 P.23 の都市農地のところに、民間のシェア畑、洗足池のように小学校が校外で農業体験行っている場所、公共施設内の広場で農地として使われている所も掲載した方が良い。

・事業計画 P.47、48 の旧六郷用水散策路の導入対象の全長が視点ごとに異なっている。復元されたエリアが中心だと思うが、現役で水が流れている東京都の管轄の丸子川も含めるべきだと思う。

→**事務局**

・計画上、都市農地は公共施設を対象としている。民間のものは農風景を将来に引き継ぐものとして基礎情報としての記載は検討できるが、導入の調整がされておらず P.23 導入方針への掲載は今後の検討材料とさせていただきたい。

・散策路については、老朽化等で再整備する場所と環境等で維持管理をする場所のうち、R6～10 に実施する距離を記載している。丸子川は現状導入対象になっていない。対象になれば記載する。

→**副委員長**

・散策路の対象の長さは、R6～10 に実施予定分であることと全長を記載すべき。

→**事務局**

・承知した。

委員長

・洗足池について色々意見を出したので、公園課と共有して改善できるところは進めていただきたい。

事務局

- ・現状書かれていないが、事業計画 P.2 の浸水についての記載部分に今年度策定予定の「高台まちづくり基本方針」の内容、P.6 の SDGs のところに大田区が「SDGs 未来都市」に選定されていることを追記する。

報告案件2 みどりの見学会 実施報告について

- ・意見なし

情報提供1 都市景観大賞について

事務局

- ・都市景観大賞にエントリーする洗足池公園で開園 60 周年のイベントを 3/20 に予定しており、内容は公園の歴史、活動のパネル展、グリーンプランに関するアンケート、子供向けに缶バッジ作りを考えている。

委員

- ・洗足池公園は、太鼓橋の下で毎年、春宵の響という邦楽の演奏会をしており、1,000 人ほど集まっていると思う。また、水生植物園で毎年、蛍の鑑賞会を行っており、去年は雨天も 2,300 人ほど子供連れ中心に集まった。近隣の勝海舟記念館は 3 年前で約 5 万人の来館者があった。

情報提供2 自動運転バス実証運行について

委員長

- ・人気はあるのですか。

事務局

- ・1/24 に運行開始して、翌土日で約 200 名に利用いただいた。

事務連絡1 推進会議委員の任期満了及び区民委員公募について

- ・各委員より任期満了にあたって挨拶。

以上